

# HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

(第2660地区)

WEEKLY BULLETIN

No. 25

## 東大阪中央ロータリークラブ

創 立 昭和47年2月20日  
例 会 日 毎週月曜日 12:30~  
例 会 場 所 シェラトン都ホテル大阪  
事 務 所 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-38  
〒543-0027 ロイヤルパークス桃坂1112号  
TEL. 06 (6772) 2320  
FAX. 06 (6772) 2327  
E-mail: hcrc@at.wakwak.com



会 長 百 濟 洋 一  
会 長 エ レ ク ト 切 石 博 之  
副 会 長 瀧 田 浩 彦  
幹 事 三 木 武 志  
会 報 委 員 長 福 岡 康 民

## THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS

### ロータリーの未来はあなたの手の手に

2009~2010年度 国際ロータリー会長 ジョン・ケニー

第 1755 回例会 平成 22 年 2 月 15 日 (月曜日) 第 25 号

#### 本日の例会

2月15日(月)第3例会

- ◎ソング 「四つのテスト」  
◎卓 話 「紙の歴史と現状」  
(担当:宮崎康治会員)  
◎本日の献立 フランス料理

#### 次回の例会

2月22日(月)第4例会

- ◎卓 話「ゴルフ上達のポイントと目標設定の大切さ」  
ゲストスピーカー アドバンス開発(株)  
代表取締役 大東 将啓様  
(担当:出原正秀会員)  
◎本日の献立 お造り定食

#### 前回の例会記録

2月8日(月)第2例会

- ◎ビジター 大阪東南RC 三野文男氏

#### 会 長 挨 拶

会 長 百 濟 洋 一

2月の世界理解月間に因んで 2009~2010 R I ジョン・ケニー会長の「ロータリーって何?」と聞かれた時のメッセージを引用させていただきます。

道徳的で誠実な行動を基本とした私たちの強調事項は、人々や国家間に強力かつ開かれた関係を築く役割を果たします。「水」「保健と飢餓追放」「識学率向上」

といった私たちの奉仕活動は、平和に対する現実的な障害を取り除くのに役立ちます。そして、私たちのロータリー財団やロータリー青少年交換プログラムは、より平和な世界をつくる担い手としての明日のリーダーたちを養成するという一歩先の段階を見据えています。これらのプログラムは、開かれたものの見方や考え方、視野が広く、微妙な違いも見逃さない人物といった、より良い地域社会における責任ある市民を育てるのに役立っています。彼らの経験と、現在と今後の経歴に支えられた彼らの生き方は決して消え去ることがなく、これらの経験から得たものを、自分のためだけに使うことはないでしょう。彼らは、私たちがロータリアンとして私たちのすべての行動を通してつくり上げようと努めている未来を築くときの手助けになる人々です。

#### 幹事報告

幹事 三木武志

1. クラブ協議会での各委員会上半期報告及び下半期計画書未提出の委員会は、ご提出をお願い致します。
2. 2010~2011年度版ロータリー手帳をご希望の方は閲覧しておりますので、お申込みください。

#### 出席報告

小川委員

本日の会員数

42名

本日の出席者数	29名
本日の出席規定適用免除会員	15名
本日の出席率	78.38%
1月25日の修正出席率	89.19%

## SAAニコニコ箱

大石副SAA

- 瀧田会員 今年から新設された、グランドシニア鶴亀杯第1回で優勝してしまいました。NET72と1オーバーでした。
- 近藤会員 例会欠席のお詫びと会員皆様方のロータリー活動のご苦勞に心より感謝致します。
- 藤原会員 嬉しい事がありました!
- 松岡会員 和田新入会員の入会を祝しまして。

## 卓話

### 「超臨界流体とその応用」

近藤化学工業(株) 小郷良明様

超臨界流体は、気体としての性質と液体としての性質を併せ持つ。超臨界はあらゆる気体と液体に関して発現できる状態であるが、その条件(臨界温度、臨界圧力)はいろいろと異なる。ここでは自然界に大量に存在し、安全・無害な流体という点で最も多く研究されている超臨界状態の水と二酸化炭素を中心に、その応用を概観し、今後の展開について述べる。

### 2009~2010年度 第8回定例理事役員会議事録

日時 平成22年2月1日(月)

第4回クラブ協議会終了後

場所 シェラトン都ホテル大阪 3階 春日の間

出席理事 百済洋一 切石博之(欠) 瀧田浩彦  
三木武志 郷田清義 湯谷登來男(欠)  
和田栗一良 浅野光男 岩崎史郎  
細川勝治 小川高弘 岡田忠彦 計10名

### 決議事項

1. 東大阪東RC創立45周年御祝いの件  
50,000円(東輪会一律) 承認
2. 2010学年度米山奨学生受け入れの件 承認
3. 4月19日(月)東大阪西RCとの合同例会の件  
会長、幹事に一任
4. ニコニコBOXの存続とニコニコの寄付金を本会計から除外する件

ロータリー情報集会で話し合う

### 「奨学生の募集は長期的に計画を」

地区の派遣したロータリー世界平和フェローやロータリー財団国際親善奨学生が、世界でロータリーの理想を実践し始めたときほど、誇らしい瞬間はありません。しかし、優秀な候補者を探すには、継続的かつ長期的な努力が必要です。

ガドマンダー・ハラッドソンさんがロータリー世界平和フェローシップ小委員長を務める第1360地区(アイスランド)は、定期的に地元の大学や人道的援助団体と直接連絡を取っています。またアイスランドの新聞2紙に広告を出したほか、元フェローには、候補者へのアドバイスや教育、候補者の推薦といった面で協力してもらっています。

「学生が良い学業成績を収めていること、そして、人道的援助の経験と意欲があることを重視している」とハラッドソンさん。これは、2年間の修士課程プログラムで学ぶ平和フェローには、特に重要な要素です。

第5890地区(米国テキサス州)は継続的な募集活動により、これまで10年以上にわたり、計36名の国際親善奨学生を派遣してきました。地区奨学金小委員長のビル・バーモアさんは、この功績を、人伝えの評判と継続的な関係作りによるところが大きいと言います。

「毎年、地元の大学でプログラムを広めてくれるような知り合いがないか、委員に尋ねます」と話すバーモアさん、委員会はまた、奨学金の資料一式を地区内のすべてのロータリー・クラブに送付しています。

第5890地区は、ローターアクト・クラブにも候補者の募集を手伝ってもらい、元国際親善奨学生には、クラブや大学で自らの体験を話すよう奨励しています。こうした努力がプログラムへの関心を集める上で功を奏しています。プログラムは現在、1年間の奨学金のみを提供しています。

候補者を絞る際には、候補者について知るだけでなく、ロータリアンとの接し方を観察できる面接がいい、と話すのは、第6440地区(米国イリノイ州)の奨学金小委員長、リング・ラッツさんです。

また、例えば、留学の前後にもロータリアンの広いネットワークがフェローや奨学生を支えるなど、ロータリーのプログラムのユニークな利点を強調することも勧めています。「これはほかの奨学金制度にない大きな魅力」とラッツさんは指摘します。

「ROTARY WORLDより」